

# 先週、回答



「何でもそうだけど、気のすすまないので無理してやってもいい結果は生まれない。わかるか、自分からすすんで、よろこんで、生き甲斐を感じてものごとを担当すれば必ず結果はついてくる」

「.....」

「たとえば、おまえの勉強だ。ママにしろられるから仕方なくやっているようにだけ、それでは成績が上がるはずがない」

「だって、ぼく勉強きらいだもん」

「それがいけない。なぜ勉強をするかを理解していないから仕方なく机に向かっているだけなんだ。勉強をすることは知識が豊富になるだけでなく、ものごとを判断する力が身につく。知識が豊富に

なれば世の中のいろいろなことがわかってくる。世の中のいろいろなことがわかってくると自分自身がわかってくる。自分自身がわかってくると、生きる張り合いが出てくる。そうなると自然と勉強することが楽になってくる。机に向かうのが喜びになる。よろこびになればきみの将来は自ずと拓けてくる。だいじなのは、人の先に立って自ら行う率先躬行（そつせんきゆうこう）。人に先立って模範を示す率先垂範（そつせんすいはん）。お父さんはむずかしいことを言ってるわけではない。何でも人に言われたから不承不承ではよくないと言っているだけだ」

「それだけわかっているパパが、なんで毎朝、不承不承、会社に行くの？」



